教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.１７２
令和４年８月２９日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ

『　ふるさとの恵み　』

今金町教育長職務代理者　　小野　嘉代子

この度の大雨により、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

今年、三年ぶりに「レバンガ北海道バスケットボールクリニック」が行われました。
プロの選手に直接指導を受けられるチャンスがあることは、幸せなことですね。
子どもたちは、選手やコーチの指導に一生懸命取り組んでいました。
さらに大きな目標や夢が持てたのではないかと思います。
前日入りされたレバンガ北海道関係者の方々と、打ち合わせを兼ねて食事をしました。
店主の方が採りたての野菜を使って料理を作ってくださり、「こんなに美味しい野菜は初めて食べた」と感激していました。
野菜が収穫出来る時期になると、普通に食べていた野菜。
新鮮だから美味しいと思って食べていた野菜。
感激しながら食べている姿を見て、いつも恵まれた環境で野菜が食べられているのだと、改めて「ふるさとの恵み」に感謝しました。
今回の水害で、今金男しゃくの収穫量が減るかもしれないというニュースを見て、大切に食したいと思いました。
そして、給食で地元で採れた採れた食材を食べられる町は幸せであると。
今年も“ふるさとの恵みに感謝”です。



『ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日』は、平成２０年に文部科学省より今金町が委託を受けた「学校給食食育推進・地産地消プロジェクト」の一環として、子どもたちへの食農教育の趣旨に賛同いただいた町内生産者から新米と新じゃがの無償提供を受け、JA今金町女性部の方々の協力の下、新米と新じゃがをそれぞれ「おにぎり」「塩煮」という素材そのものの味を生かした調理で町内全児童生徒、教職員に提供したことから始まっている事業です。今年は11月18日（金）に実施を予定しております。

その前に今年は9月６日（火）に『今金産黒毛和牛を味わう日』が実施されます。JA今金町企画「地元食材を使用した食育教室」との合同実施。今金黒毛和牛はJA今金さんからご提供いただきます。スープカレー有名店店主を講師に招き、町内６年生を対象に調理実習でスープカレーを調理。その日の給食も可能な限り同様の内容とし、町内小中学生全員にスープカレーが提供されます。



負けない

夏休みが終わって子どもたちが学校に戻ってきました。と言っても、全員揃うと言い切れないのがこの夏。事務所内でも「子どもたちもご家族も、相当なストレスを抱えていると思います」という言葉が担当者の口から。確かに、罹患したり濃厚接触者になってからの行動制限の日数は長いです。検査結果もすぐには来ないため、その間も。心苦しい限りです。
コロナ、平和、災害。重苦しい環境があるのは事実です。私は大きなことはできません。でも、子どもたちや町民の皆さんが笑顔で優しい気持ちで明日の朝を迎えられるよう。自分自身も。
負けずに頑張っていかねば･･･。頑張る。